

## 平成30年度版 多忙化改善計画

学校名：甲府市立東中学校

No.	項目	現状と課題	H31年度に目指すべき状態	① H30年度に実施する内容 ②H31年度に向けて検討する内容	達成状況
1	会議等の効率化	○職員会議は共有ドライブを通じて電子化され、準備時間が大幅に削減されている。 ×効率化の半面、共有ドライブのセキュリティや整理による機能化、バックアップ等にまだ課題が残る。	・ペーパーレス会議が簡単な操作、管理で安全に運用できるようにする。 ・学年会議等の短時間化を学校全体の問題として考えている。	① ペーパーレス会議と提案方法のさらなる改善 ・有効な方法であるだけに、実際の運用にはまだまだ課題がある。 共有ドライブとそのデータの整理、効率化、保守を確立する。 ② データの保管方法等の策定。	
2	学校行事の負担軽減	×これまでに精選されたものがあるが、それぞれの行事の内容についても再考する必要がある。	・いくつかの行事の内容を、具体的に統合・縮小している。	① 職員による担当行事の見直し。全体による統合の可能性の相談。 ② 地域行事、PTA行事の見直し。	
3	校内組織の見直し	○職員数が多いため、分掌の複数配置による分散業務が実現している。 ×報告連絡等の徹底が困難。	・情報の共有化による全職員の共通理解の向上・校務分掌再編ができています。	① 報告→連絡→相談→共有→確認→実行 のPDCAサイクルの見直し。	
4	業務の効率化	○教頭複数配置、加配教員による負担の軽減。 ×生徒減、職員減による多忙化。 ×教務主任の多忙化 ×朝・夕の立番指導の負担	・きずなの日に合わせた定時退勤を実施している。(月1回から2回を目指す)	① きずなの日の目的、活動内容の周知と推進。 ・教務主任業務の軽減策をICT活用で実現できる方法を探る。 ・教務主任が行う会議・週報等の印刷業務の軽減 ② ICT活用の際の阻害要因を整理して改善策を検討・実施する。	
5	部活動の負担軽減	○複数顧問配置が実現している。 ×活動計画に部格差がまだある。	・年間部活動計画つづりの作成による計画的で確認しやすい体制ができています。	① 週1日、原則土日どちらかを休みとし、複数顧問による交代での休日部活動を実践する ② 外部指導者の開拓	

6	地域人材の活用	○一部の部活等で地域人材、保護者等が活動している。 ×地域人材資源の情報が不足している。	・地域の人材が、昨年度より活用されている。	① 教科、特別活動、部活動また、朝夕の交通立番指導での人材活用を推進する。 ・地域の人材開発を進めるため、PTAや各育成会議等でもお願いをする。 ② 警察や安協等、公的な人材、またはPTAの協力で交通立番が可能か検討する。	

●H30 年度における「きずなの日」の年間回数(予定) \_\_\_\_\_ 20回